

岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和 4年 1月 20日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ カモメアサイチジッコウイインカイ
団体名 カモメ朝市実行委員会
所在地
連絡先
フリガナ
代表者



※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	小串学区再生プロジェクト
事業実施小学校区・地区	小串小学校区
事業実施回数	☒ 新規 継続 回目 / 【 年度から】
課題	・小串小学校の生徒が22人と激減している。 ・高齢化が著しく、また、若い世代が学区から出ていき地域活動への参加者が減ってしまい住民どうしの交流が無くなって来ている。 ・交通の便が悪く、日常生活に必要な生活支援サービス（交通・医療・娯楽）を受けられない住人が多い。 ・空き家が年々増えて来ており、限界集落へ近づいて行っている。 ・他地域と繋がる道が限られており、災害時に避難経路が断たれ、長期間孤立する恐れが高い。 ・震災による津波が発生した場合の避難待機所及び避難経路等の設備に不安がある。
事業の目的	・地域を活性化するためには、若い世代を増やすことが必須であり、若い世代に小串の良さを知ってもらい、住みたいと思ってもらえるようにしたい。 ・いろいろな活動に参加してもらう事で住民の意識を高め、地域一団となり課題に向き合って行きたい。 ・災害時にすべての住民を守り、孤立した場合にも生き抜いていけるようにしたい。 ・危険な空き家を撤去する事で、災害が発生することを防ぎ、また新たな活用法を地域全体で見いだして行ける町内会を作りたい。 ・将来的にデマンド型交通の活用などを視野に入れることで、地域住民の団結力を強めたい。

事業の内容・感染防止対策の内容	○カモメ朝市 ・空き家対策として解体した民家跡地の広場を利用し、朝市を年4回開催する ・出店店舗は、地元農家、地元漁師、岡山市内の飲食店等 ・集客のターゲットは地元住民及び若い子育て世代の親子、他地域の住人 ○買い物支援 ・パン(米粉パン専門店大元工房)【毎週火曜日】及び豆腐(若観門豆)【毎週土曜日】を阿津地区内の集会議場で委託販売 ○防災訓練 ・令和4年度は自衛隊による避難活動の実演予定 ・他地域の住民にも参加してもらい、小串地域の意識の高さと安全性を認識してもらう ○空き家の現状調査 ・空き家マップの作製及び持ち主の特定 ○感染防止対策の内容 ・集会議場及び会場の来場者に対し入場前の体温測定（非接触型）及び手指消毒 ・集会議場及び会場の来場者に対し入場時に氏名及び住所、連絡先の記入依頼 ・使用するテーブルへ手指消毒用のアルコール配備 ・利用後すぐに机、椅子及び備品の定期的な消毒実施 ・運営者及び事業協力者の事前健康チェックシート提出 ・会場内音響設備にて、30分に1回の注意喚起放送（マスク着用・3密回避） ・集会議場及び会場内各所へ3密回避及び手指消毒、マスク着用の掲示物設置
期待される成果・目標	○カモメ朝市について ・既に2021年11月21日に第1回カモメ朝市を実施済みであり、確実に成果が出ている。 ・朝市の打ち合わせの為、地元住民と地元出身の若手がコミュニティスペースに集まり議論をすることで、地元高齢者達に活気が出た。 ・打ち合わせ時以外でも、地元住民間に共通の話題が出来たことでコミュニケーションが増えた。 ・現役をリタイアしたシニアへ具体的な役割をお願いする事で生きがいを持ってもらう事が出来た。 ・地元企業へ協賛金や駐車スペースのお願いをすることで住民と企業の距離が近くなった。 ・今後の目標として、上記成果の継続と共に地元在住の若年層に協力してもらい、地域に根付くことで子育て世代を増やし小串学区が若返ることを望む。

	○買い物支援 ・住民の食糧確保と共に購入時に住民が集まる事で会話を生むことができる。 ・また、利益を地域住民のために使うため、購入に対する協力意識が生まれる。 ○防災訓練 ・住民への、災害に対する不安の軽減と、災害時にどう行動するか意識付け。 ・他地域に向けて、小串学区の災害に対する意識の高さをアピールすると共に、小串学区を知ってもらう。 ○空き家対策 ・朽ち果てた家屋の倒壊による災害を予防する。 ・補助金を使い解体を促す事で、空き地として再利用できる可能性を見出す。 ・将来的に、空き地に他地域から移住してくる人が家を建てる流れを作りたい。
企画などの工夫	○カモメ朝市 ・本企画の発端として、空き家対策で出来た広場をどうすれば活かせるかという所からスタートし、地元住民や出身若手が意見を出し合い、朝市を開催する運びとなった。 ・出店店舗の誘致に関し、地元の野菜や鮮魚だけでなく知名度がある店やお洒落な店に出店してもらう事で、地域外からの集客を狙った。 ・駐車場に関して、地元の空き地所有者を1件ずつ回り利用の許可をもらった。 ・朝市会場で使用したテントや机、椅子は、学区内の各町内（小串・阿津・向小串・米崎・相引）に協力いただき準備した。 ・前日の会場準備は、町内放送で協力者を募り地元住人と協力してテントなどを設営した。 ・地域に関係のある企業から協賛金をいただき、備品の購入に充てた。 ○買い物支援 ・町内会の住人が店舗（パン屋・豆腐屋）から前日の夜に仕入れ、集会所へ運搬し、翌日の朝から町内会の役員にて販売を行う。 ・販売で出た利益は、集会場での地元住民団らん時の飲み物代などとして利用することにより、更なる交流を生む。 ○防災訓練 ・前日や当日の準備は地元住民に協力してもらい行う。 ・当日は、町内の婦人方が協力し来場者へ飲み物などを提供する。 ○空き家対策 ・町内会協力のもと、空き家の確認を行い地図に印をつける。 ・関係の深かった住民から聞き取りを行い、元住人の親族などを見つけ連絡をとる。
協働する団体等	・小串町内会 ・阿津町内会 ・向小串町内会 ・米崎町内会 ・相引町内会 ・岡山市消防団小串分団 ・米粉パン専門店大元工房（パン屋） ・若観門豆（豆腐屋）

事業の 情報公開	・ SNS での告知 ・ 新聞での告知 ・ テレビによる報道での告知 ・ 各事業の案内を町内の掲示板や協力店舗へ掲示させてもらい告知
学区 地区 への 広がり	○カモメ朝市・防災訓練 ・ 次回以降、小串保育園や小串小学校へチラシを掲示させてもらい、小学生や地元在住の若年層へ PR する予定としている。 ・ 結果として、実行委員会に若年層を介入し継続的な運営を目指すと共に、若年層が地元に根付くことを望む。
前年度 からの 見直し 拡充点	
次年度 以降の 予定	① 次年度以後の活動計画 ○カモメ朝市 ・ 3 ヶ月に 1 回（4 月・7 月・10 月・1 月）実施予定 ○買い物支援 ・ 引き続き週 1 回の販売を継続 ・ パン、豆腐以外の買い物支援を模索し、数年後には買い物同行支援につなげたい。 ○防災訓練 ・ 自衛隊とタイアップし、大規模な避難訓練を実施 ○空き家対策 ・ 空き家マップの作製 ・ 元住人の親族などをリストアップ ・ 所有者に連絡と取り、今後の活用予定を確認する。 ② 資金の確保について ☒ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐ （ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：

その他PRしたい点	私たち実行員会は非営利で今回の事業を行います。 地元住民と地元出身若手が一致団結して小串学区に活気を取り戻そうと立ち上がりました。 現状のままでは、必要最低限の生活支援サービス（交通・医療・娯楽）も受けることが出来ず、 住人はどんどん減って行くでしょう。 この度の計画を継続出来るかどうか小串学区の未来がかかっていると言っても過言ではありません。 将来的に、甲浦学区を巻き込み光南台学区として、もっと大きなプロジェクトに成長する事が出来ればと考えています。
------------------	--

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	企画会議 (カモメ朝市・防災訓練・空き家対策) カモメ朝市開催 カモメ朝市反省会 パン・豆腐の委託販売
5月	企画会議 (カモメ朝市・防災訓練・空き家対策) パン・豆腐の委託販売
6月	企画会議 (カモメ朝市・防災訓練・空き家対策) パン・豆腐の委託販売
7月	企画会議 (カモメ朝市・防災訓練・空き家対策) カモメ朝市開催 カモメ朝市反省会 パン・豆腐の委託販売
8月	企画会議 (カモメ朝市・防災訓練・空き家対策) パン・豆腐の委託販売
9月	企画会議 (カモメ朝市・防災訓練・空き家対策) 防災訓練実施 (予定) パン・豆腐の委託販売
10月	企画会議 (カモメ朝市・防災訓練・空き家対策) カモメ朝市開催 カモメ朝市反省会 パン・豆腐の委託販売
11月	企画会議 (カモメ朝市・防災訓練・空き家対策) パン・豆腐の委託販売
12月	企画会議 (カモメ朝市・防災訓練・空き家対策) パン・豆腐の委託販売
1月	企画会議 (カモメ朝市・防災訓練・空き家対策) カモメ朝市開催 カモメ朝市反省会 パン・豆腐の委託販売
2月	企画会議 (カモメ朝市・防災訓練・空き家対策) パン・豆腐の委託販売
3月	企画会議 (カモメ朝市・防災訓練・空き家対策) パン・豆腐の委託販売

収支予算書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金		2,100,000	コロナ感染症防止対策経費含む
実施団体負担金		0	
参加者負担金		0	
協賛金		350,000	関係企業からの協賛金
寄附金、他収入		150,000	各店舗売上の1割を出店手数料として徴収(朝市)
収入合計	0	2,600,000	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費		780,000	事務用品・机・椅子・区画用品他
②食糧費		463,000	会議に係る飲料代、事業実施当日の飲食代等
③印刷製本費		146,000	チラシ、資料の印刷、コピー等
④燃料費		11,000	会議会場の灯油代(寒冷時)
⑤光熱水費		12,000	会議場・事業会場の電気代、水道代
⑥通信運搬費		—	
⑦広告料		—	
⑧手数料		5,000	銀行振込手数料等
⑨使用料・賃借料		613,000	イベント用テントリース料・仮設トイレリース料
⑩原材料費		—	
⑪委託料		450,000	会場・駐車場等警備員委託
⑫工事請負費		—	
⑬報償費		—	
⑭保険料		20,000	イベント保険料(カモメ朝市)
⑮旅費		—	
小計(①)	0	2,500,000	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費		100,000	体温計・アルコール消毒液・除菌シート ・マスク・ビニール手袋
小計(②)	0	100,000	
支出合計(①+②)	0	2,600,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	☒ 希望する ・ ☐ 希望しない
----------------	---

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

朝市の実施に向け、事前に準備する資金が必要なため

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。